

## 大会宣言

～ A 型からの多様な働き方を～ とのテーマのもと、埼玉で初めての A 型フォーラムがここ、大宮ソニックシティ国際会議場をメイン会場として開催されました。埼玉県は、古くから中山道と日光街道の主要な宿場町が中心となって地域コミュニティを形成しているため、大宮、浦和、川口といった中央の都市部の他にも、所沢、川越、熊谷、春日部、越谷、上尾といった中核都市が点在する地域性があります。

交通は、鉄道が東京から放射状に 3 本が埼玉を通過していますが、これらを横断する路線が一つしかなく、鉄道での移動には大きな問題点を抱えています。道路事情も同様で、放射状に走る幹線道路を横断的に結ぶ道路が少なく、埼玉県民の多くが県内の移動に不便さを感じているとともに、東京志向が強まる原因の一つともなっています。実は、このことが、障害者の活動の場を狭めてしまっていることにも通じていて、施設の活動範囲が広がらない一因でもあるように思えます。県内各地の就労支援センターには、多くの障害者が登録されていますが、近年では精神障害のある人の登録が急速に伸び、企業だけではなく A 型事業所にも多くの人が通うようになっていきます。

そこで今回のフォーラムでは、A 型事業所の在り方をめぐり、短時間労働と障害特性について、或いは特例子会社と A 型事業所との関係について議論するとともに、精神障害者にとって、地域で生活を自立するために A 型事業所が貢献できるか、という様々な観点から活発に議論致しました。90 か所を超える A 型事業所を有する埼玉県にあっては、これらのテーマは時機を得たものであり、今後の A 型事業所の在り方に大きな参考となったことは間違いありません。

東京近郊にあって、多くの県民が東京志向を強める中にあって、障害のある人が地域に取り残されることの無いよう、障害のある人の居場所を明確に確保するとともに、雇用の場の確保と障害のある人の活躍の場が広がるために、A 型事業所の果たすべき役割は、大きくなることはあっても、縮小することはあり得ないと断言致します。

一人でも多くの働きたいと思う障害のある人が、働く場を得て、豊かな生活を送る事が出来るよう、A 型事業所がその役割を存分に発揮して行かなければならないと痛感いたします。今後、埼玉においては、各事業所に呼びかけ、様々な形での勉強会や交流会をを開催する中で、全 A ネット埼玉支部の結成を目指してまいります。埼玉が変われば日本が変わる。埼玉の果たす役割は、大きいとの自覚のもとに、A 型事業所の連携を深めていくことを誓い合い、本大会の宣言といたします。

平成 31 年 3 月 9 日

就労継続支援 A 型事業所全国協議会

「はたらく NIPPON ! 計画」A 型フォーラム in さいたま

大会実行委員会、参加者一同